

2011 SUMMER

Vol.4

社団法人 巨樹の会

新武雄病院

# おおくす

## Contents

西田憲記先生インタビュー

開院式典

院内施設紹介

部門紹介 検査科／薬局

たけおじゃら〜ん



## 新武雄病院 院長

# 西田 憲記先生インタビュー

西田憲記(にしだけんき)。

高知県土佐清水市足摺岬(あしずりみさき)出身。

新小文字病院の前院長であり、新武雄病院院長。

かつて、新小文字病院移転という一大プロジェクトの陣頭指揮を取ってきた男だ。

そして、史上初の公的病院民間譲渡で揺れた

新武雄病院(旧 武雄市民病院)の移転でも陣頭指揮を取っている。

また、ある医師は『神の手 福島孝徳先生の手術を

見学した時は非常に驚いたけど、

西田先生の手術を見た時も技術の高さに驚いた』とその腕を絶賛。

スタッフ・患者様及びそのご家族からの信頼も厚く、

その人柄に魅かれる者も多い。

脊髄脊椎外科の事、新武雄病院移転の事、

・・・素顔の西田が全てを語った!



### Q 先生のご出身は？

**西田** 高知県土佐清水市足摺岬です。

実家に帰るためには新武雄病院からだとも8~9時間程かかりますのでちょっとした外国に行くより遠いです。交通の便が悪いので。

### Q 幼少時代はどんなお子さんでしたか？

**西田** 田舎の小学校だったので複式学級<sup>(注)</sup>でした。一年生から三年生までと四年生から六年生までが一緒に教室でした。当時は『神童』と言われていました。(笑)

(注：学年ごとにクラスを編成するのではなく、複数学年で1クラスにする学級編成)

### Q なぜ医師になろうと思われたのですか？

**西田** 母親が学校の先生だったこともあり教育熱心でした。長男は医師、次男は弁護士、三男は政治家にする目標があったようで幼少の頃から一種のマインドコントロール的なものもあったかもしれないです。自然と医師の道に進んでいました。

### Q 脊髄脊椎外科に進んだ理由は？

**西田** 私は元々脳神経外科だったのですが、今でも治療法も確立され助かる患者様も増えてきていますが、当時私が脳神経外科をしていた時代は手術をしても患者様が寝たきりになるケースが多々ありました。当時は、今のようリハビリも十分発達していなかったですから、命は助かってもマヒが残り寝たきりになるケースが多かったです。患者様が良くなるというイメージがなかなか持てなかったです。一方、その当時の脊髄脊椎外科はMRIもない時代でしたから、本当に手さぐりの状態でした。しかし、それでも脳神経外科で頭の手術をした場合よりも、脊髄脊椎外科で脊椎の手術をした方が患者様やそのご家族からも『ありがとうございます。助かりました。』と感謝され、患者様が見るからに良くなっていく姿がうれしく脊髄脊椎外科に非常に興味を持ちました。



## Q 新武雄病院移転に関して

**西田** 病院のある地域によって特性があると思います。福岡和白病院と新小文字病院を比較しても地域に住んでいる人の年齢層や職業も違うと思います。武雄という街は農業に従事されている方が多く、他の地域と比較しても高齢者の多い地域にあります。病院というのは地域医療に根差した病院になっていかないといけないのですから、私達の病院のやり方を患者様に押し付けるのではなく、私達が病院の中でその地域の患者様が求めているものに変えて行かなければなりません。

福岡和白病院のやり方や新小文字病院のやり方をそのまま持っていても病院として患者様にとってメリットは全くないはず。地域の方々のニーズに応えられるような病院の形態をこれから作り上げて、今まで市外や県外で治療を受けている地域の方々に武雄で十分な治療を受けられるような体制を作らなければならないと思います。

## Q 本を出版されるそうですが？

**西田** 出版に関しては以前から言われていたのですが、私は本を出したりすることは好きじゃなく否定的でした。しかし、今まで自分がしてきたことを一つの形…つまり、『文字』という形で残すのも良いかと思い渋々とは言わないけれども出版することになりました。

実際に、私は手術で合併症の出た患者様のことや、特徴的な症状や経過のある患者様、あるいは遠方から来られた患者様のことを日記感覚で記録をしていました。旧小文字病院に赴任した時から、少しでも手術の合併症を減らしたいということが頭にあり、且つ同じような過ちを繰り返さないようにするためにそういった記録をしていました。本の出版のお話を頂いた時にこういった形でも良いと言われたので、この記録に残っている人たちのインタビューを中心に構成してもらえたら良いと思い出版に至りました。

# 開院式典

平成23年5月22日(日)

新武雄病院内覧会及び開院式典が新病院と武雄看護リハビリテーション学校を会場に行われました。あいにくの天気でしたが、約1,800人の方々の参加をいただき、6月1日開院に向けての華々しい幕開けとなりました。



鶴崎理事長の挨拶



松隈ドクター及び北九州交響楽団による弦楽四重奏

開院式典に先駆け、新病院内覧会が行われました。

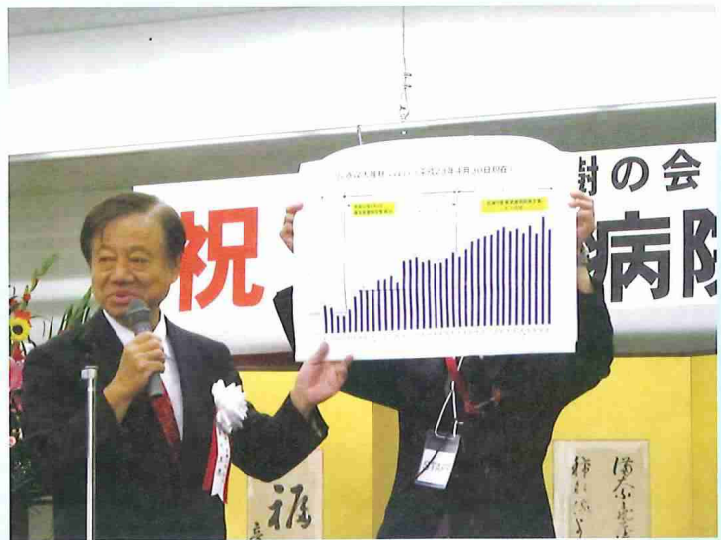
「きれーかね」「ひろかねー」などの声があちこちから聞こえ、案内係の説明に熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

特に、ICUとリハビリ室が好評で、「これなら安心して治療してもらえごたあ」との声をかけていただきました。

新病院から、開院式典会場の武雄看護リハビリテーション学校までの間では、鶴崎理事長の地元大町町から駆け付けていただいた「聖太鼓の会」による太鼓演奏が行われていました。

勇壮な大太鼓の音に、皆さん思わず立ち止り、渋滞が発生するほどの盛況ぶりでした。

一転して式典会場では「松隈ドクターと北九州交響楽団」による美しい弦楽四重奏の生演奏が奏でられ、式典開始前の癒しのひと時を演出していただきました。



蒲池顧問の挨拶





樋渡武雄市長の祝辞



開院式典では、樋渡武雄市長、韓国カンアングループ具会長をはじめ、多くの御来賓より御祝辞をいただき、鏡割りと乾杯でお祝いしていただきました。



中尾佐賀新聞社社長による乾杯

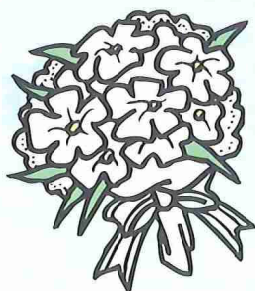


医局紹介

看護部有志による祝舞も披露され、4会場に分かれたの式典でしたが、モニターによる同時中継を行い、全会場で大いに盛り上がりました。

ケータリングによる料理のほか、テント内では関連グループ企業の御協力のもとバーベキューがふるまわれていましたが、まったく間に合わないほどの盛況ぶりで、スタッフはハトハトになりながら、お肉や焼きそばを焼いていました。

開院式典を通して、地域の皆様からの、24時間365日安心して医療を受けられることへの大きな期待が感じられ、スタッフ一同、開院に向け気持ちを新たにいたしました。



# 院内施設 紹介

新しい新武雄病院の  
様々な施設を  
ご紹介します。



## 4F庭園

4Fの庭園は、リハビリでの利用が多いです。  
患者様の感想としては、

- ・病院にこんな空間があることに驚いた。
- ・いつも部屋にいたのでとても新鮮。特に人工芝がいい。
- ・わざわざ下に降りなくても外に出れるのがいい。

と、なかなか好評です。

また、リハビリ科のスタッフからは、

- ・緑があるので患者様から喜んでいただける。
- ・「さんかん」が生っていたりして、話題ができる。
- ・外出するほどは軽快していない患者様でも、気軽に外の空気を感じてもらえる。

など、やはり好評のようです。

## リハビリテーション室

当院のリハビリテーション科の特徴は、365日  
休みなくリハビリテーションのお手伝いをさせて  
頂く事です。

そのために、急性期病院ではありますが総勢50  
名のリハビリ専門スタッフ(PT・OT・ST)を配置し  
日々の診療に携わっています。

リハビリは、より早期に開始してこそ十分な治  
療効果を引出し、後遺症を予防する事ができます。

また、身体機能を強化するだけでなく、患者様個  
人単位での生活機能や活動能力等の強化を通じ、  
退院した際の生活適応力の獲得にも取り組んでいます。

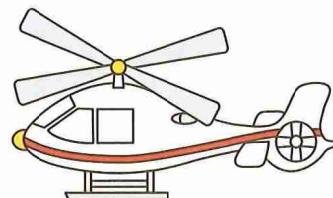
そのため、リハビリテーション室には、実際の家庭内の段差、畳、キッチン、押し入れなどがあります。



## ヘリポート

屋上には、当病院グループが所有する民間患者搬送用  
ヘリコプター「ホワイト・バード」が着陸できるヘリポートを  
備えています。

救急搬送はもちろん、より専門の技術を持ったドクター  
の移送や、御家族の介護負担を抑えるための「下り搬送」  
にも対応できます。



# 部門紹介

## 検査科

常勤 8名、パート 1名 計9名

**ご案内** 救急病院の技師として、24時間体制で救急対応し、あらゆる患者様に迅速で正確な検査データを電子化することを実現し、それを日々管理し、よりよい結果をだしております。



病理検査



生化学検査

### ■生理検査

超音波検査はすべて電子化しペーパーレスで画像サーバーで管理・保存又、心臓超音波検査は動画サーバー管理・保存しております。

今後、実績を積み更なる最新超音波装置での画像診断を目指します。

心電図検査等もサーバー管理し、完全ペーパーレスです。

(フクダ電子生理検査システムFES-8800)

### ■検体検査

当院は処理能力のある、多項目測定装置(C8000、i2000一体型)完備し多項目を同時測定し、迅速で正確なデータを患者様にご提供します。

### 所属長挨拶

常に救急病院の技師である為に、他職種の技術も習得し、幅広い検査室を目指して行きます。

検査科一同、明るく楽しく激しく芸多彩な検査室を目標に今後何事にもチャレンジしていきたいと思えます。

男性3名、女性6名が常に一丸となり今後、頑張ります。

(検査科技師長 富田利也)



## 薬局

薬剤師 8名、薬局クーク 1名

**薬局の紹介** 薬局では薬剤師8名、薬局クーク1名で業務を行っています。薬局の主な仕事は、以下のようになっています。

### ■調剤業務

入院患者様の内服薬・注射薬の調剤を行っています。また、夜間外来にいられた患者様のお薬の調剤を行っています。

抗がん剤は安全キャビネットを使用して、無菌的な調整を行っています。

### ■服薬指導業務

入院中の患者様や退院される患者様にお薬の説明書を使用しながら説明を行っています。

### ■DI業務

お薬の様々な問い合わせに対応しています。新薬の情報提供を行っています。

薬局の目標としては、すべての薬物療法に関与し貢献することです。移転後の新病院での業務の充実と拡大により目標達成に努力していきます。(薬局長 熊本由紀子)

スタッフのプライベートな一面紹介

ケモ(化学療法)の混注業務がほぼ初めてなので、緊張しながらやっています。



武雄に来て2年にもなりましたが、いろんな所に出向いてもっと武雄周辺を知ってみたいです。



趣味のテニスが大好きで、毎週のようにテニスには行きます。そのおかげで薬局で今一番照いです!

久しぶりに走ったら、運動不足を実感しました。仕事の合間に運動もしていきたいです。

ルールはよく分からないけど、スポーツ観戦と韓国ドラマを見るのが大好きです。



休日には旅行をして視野を広げたいです。

「開運」なんでも鑑定団を見て、玉石混淆の作品を楽しんでいます。

毎日、平凡に暮らしています。趣味は、趣味を探すことです。未だに見つかっていません。

甘いものが大好きで、チョコレートを大量に食べるので周りにびっくりされます。朝ごはんもチョコレートを食べます。



# たけお じゃらん



和風スパゲティ  
¥500

がばい  
ハンバーグセット  
¥780

NEW  
OPEN

## 新武雄 キッチン アムアム

新武雄病院1階に新規オープンしました！  
ドリンクバーも設置してあるので、  
ランチ以外の時間もゆっくりとくつろぐことができます。  
おすすめは、  
肉汁がたまらない「がばいハンバーグセット」¥780  
そして、こだわりの味「和風スパゲティ」¥500  
病院へお越しの際は、是非お試しを！



**TakeOut：お持ち帰りも出来ます**

■営業時間 10:00～17:00  
■電話 0954(23)3111 内線2000



社団法人 巨樹の会

# 新武雄病院

〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡12628番地

TEL:0954-23-3111 FAX:0954-23-0208

ホームページ <http://www.shintakeo-hp.or.jp>

Eメール [info@shintakeo-hp.or.jp](mailto:info@shintakeo-hp.or.jp)